

感謝の思い胸にSDGs宣言



株式会社 中井英策商店
SDGs宣言

2022年10月18日
株式会社 中井英策商店
代表取締役 及川 昌弘

SDGsの達成に向けた取組
当社は国連が定める持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組を進めています。

- 全てのご家庭に笑顔をお届けするお手伝い
 - 当社と関わる全ての人びと笑顔をお届けすべく、従業員が健康で、いい仕事と働ける職場環境の整備を目指しています。
 - 【具体的取組】
 - ・100%の労務管理(労働時間管理)
 - ・労務管理の徹底
 - ・労務管理の徹底
 - ・労務管理の徹底
- 人に地球に、社会に優しい環境づくり
 - 人が暮らしやすい地球や、地球において環境保全を重視する経営環境の構築に向けた取組を積極的に進めています。
 - 【具体的取組】
 - ・環境負荷低減の取り組み
 - ・環境負荷低減の取り組み
 - ・環境負荷低減の取り組み
- 頑固にこだわり、守るべきは守る経営思想
 - 北海道が誇る「人」を大切に「愛媛県産(しいたけ)産地直産品」の活用に取り組んでいます。確立した工程・システムを大切に、持ちこたえは頑固に守り、守るべきは「人」を大切に「愛媛県産(しいたけ)産地直産品」を活用しています。
 - 【具体的取組】
 - ・SDGsの活用
 - ・SDGsの活用
 - ・SDGsの活用
- 地元北海道西いぶりの感謝の心を忘れない
 - 当社が日々、お世話になっている地元、北海道西いぶりの感謝の心を忘れず、地域への思いを「地域貢献活動」を通じて形にし、継続して取り組んでいます。
 - 【具体的取組】
 - ・地域貢献活動
 - ・地域貢献活動
 - ・地域貢献活動

SDGsとは
SDGsは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をローガンとし、持続可能な社会の実現を目指して、経済・社会・環境の3つの柱から17の目標と169のターゲットで構成されています。

当社、中井英策商店は、このほど、北洋銀行の協力を頂き、国連が提唱する「持続可能な開発目標」SDGs宣言を正式に発表しました。

この宣言は、環境への取り組みを重視する

経営姿勢を民間にも広く広げようと、国際的な取組が高まっている様々な取組を、内外に宣言するもので、当社中井英策商店としては、「守るべき伝統や経営思想は頑固に守り、地元北海道や従業員、取引先などへ広く広げようと、国際的な取組が高まっている様々な取組を、内外に宣言するもので、当社中井英策商店としては、「守るべき伝統や経営思想は頑固に守り、地元北海道や

きんきん新聞

きんきん新聞
第47号
発行：(株)中井英策商店

加の森で 行お後格をどいでで近
ぶイ県は昨くもも的昨のた出は、
コリベ十年秋、くませに年イ僱事の店出は、
ロに出秋月、様に「に再秋僱事ト店出は、
ナ出ト田から、に「に再秋僱事ト店出は、
前参久で青社、に「に再秋僱事ト店出は、

いらっしやいませの声響く

催事販売再開へ

からおおよそ三年ぶりに催事での対面販売を行った。

しぶりに一般のお客様と対面で会話をしながらの営業販売となり、衛生面から試食は自粛せざるを得ないまま、追えなかつたもの、久しぶりに店頭で響き渡る「いらっしやいませ」の声に感慨無量となった。

当社としては、今後出来る限り対面の催事販売を復活させる計画で、全国各地への催事展開を予定している。



和泉山脈に沿って電車は進む

鉄つちゃん旅日記

五駅先の終着駅和歌山駅を目指して再出発、紀ノ川を舟を渡り、大きな川を渡り、田園地帯を抜ける。再び住宅街へ入り、和歌山市が近くなってきた。

それにしても、印象的なのは、最高峰でも九二メートルとそれほど高くない和泉山脈がこの和歌山、大阪の県境に脈々と連なるため、あの信長や秀吉も簡単に攻められなかったんだなあ、と思ってしまう。その山すそを走ると、和歌山線に思いを馳せ、終着和歌山駅に到着。古刹、歴史を感じ終るローカル線旅を終えた。



国宝多宝塔のある根来寺

札幌市民の台所の役割を



道の駅「北の風とうべつ」北海道石狩郡当別町 当別太774-11 TEL:0133-27-5260

「真鯛を使った新しい商開発が出来ないか？」と、歴史都市契約を結んだばかりだった伊達市に相談が持ち込まれ、当社、中井英策商店での「真鯛のいずし」開発に繋がった。新製

「発売から3年目を迎え、真鯛飯寿司の美味しさを伝えるのは、北海道当別町で道の駅と熱く語るのには、北海道当別町で道の駅「北の風とうべつ」を運営する(株)Tobeさんの営業販売部、鷺尾亜希さん(写真真下)、石狩管内当別町は、当社の地元伊達市と、歴史提携都市契約を結ぶ関係で、当社製品の販売代理店となっており、キンキいずしをはじめ多くの当社製品を販売して頂いている。今から3年前、当別町と姉妹都市提携を結ぶ愛媛県宇和島市産の養殖真鯛が、折からのコロナ禍で出荷先が先細りとなった関係で、

品開発ストーリーとして、北海道新聞さんも紙面で大きく取り上げるなど、話題を呼んだ。その商品開発の先頭に立つたのが、鷺尾さん。

「遠く四国の真鯛が、北海道で飯寿司となつて北海道民に親しまれるのは、嬉しい」と笑顔を見せる、今ではすっかり、道の駅とうべつの物販コーナー定番となつた。道都札幌市から車で数分の距離にあり、多くの札幌市民の皆さんにご利用頂いています」と、札幌市民の台所としての立地を活用し、「これからも独創的な商品開発を進めたい」と意欲を見せる鷺尾さん。

「中井さんの飯寿司は、通年で販売させて頂いています。今年、真鯛いずしの新バージョンとして、愛媛県産の柑橘類を使った飯寿司の開発を、中井商店さんには協力して頂きたい」と当社に熱視線を送って頂いた。

お得意先訪問

